



島根大学は、平成15年に旧・島根大学と旧・島根医科大学が統合し、令和5年10月に統合20周年を迎えます。また同年4月には工学系の新学部を設置する予定でもあります。島根大学の学生及び教職員の一体感を醸成し、次の時代に向けて価値創造に挑戦し続ける姿勢を広く社会に発信することを目的として、ロゴマークをリニューアルすることになりました。

新ロゴマークは、令和4年2月より約2か月間、デザイン業務を行う企業又は個人から全国公募しました。今後、学内外の委員で構成される選考委員会において第1次審査を行い、候補を3〜4程度に絞ります。7月には、学生及び教職員並びに島大会員による第2次審査（投票）を行い、役員会を経て最終決定し、令和5年4月に公式発表となります。

現島大会員に加え、支援基金に一定額以上ご寄附いただいた方のうち、島大会員に5月末までに新規入会された方には投票用紙をお送りいたします。これからの島根大学を創り上げていく機運と一緒に盛り上げていただくと幸いです。

TOPICS
4
令和5年4月公式発表
島根大学の「ロゴマーク」を
20年ぶりにリニューアルします

島根大学が学内外問わず行っている多彩な活動の中から大学の今がわかる選りすぐりの情報をお伝えします。

しまだいい便り



TOPICS
1
企業との連携により学生の島根県内定着を目指す
県内企業の寄附による奨学金制度を新設



令和3年12月10日(金)、島根電工株式会社 荒木恭司代表取締役社長、山陰中央テレビジョン放送株式会社 田部長右衛門代表取締役社長、株式会社オネスト 石碕修二代表取締役社長、本学服部泰直学長ほか関係者が出席し、島根電工グループ、TSKグループ及び株式会社オネスト並びに国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定の締結式を行いました。

この協定は、各社と大学が緊密な連携のもと、島根県の将来を支えていく意欲を持つ優秀な人材をともに育成するとともに、県内への定着促進に寄与することを目的としており、島根電工グループ、TSKグループ及び株式会社オネスト様からの寄附金を原資として、島根県内就職を目指す学生へ支給する「県内定着奨学金」を新たに創設します。

協定締結式に出席した企業の代表からは、「島根県で就職を希望する学生を支援することにより、島根大学で学んだ優秀な人材が地元に残り、地元でイノベーションを起こすことに期待している」との言葉がありました。また、服部学長より「島根県にある国立大学として地域貢献は大きなミッションである。優秀な人材を育て、島根県に貢献することを大きな使命と捉え、人材育成をしたい。また、これをきっかけに学生に島根をもっと知ってもらい、島根に定着してもらいたい」との発言がありました。

TOPICS
2
島大生と学長の意見交換会を実施
大学をよくするためのアイデアを提案



令和4年2月3日(木)、島大生と学長の意見交換会を行いました。学生からは「地域と密着したプロジェクトを立ち上げる」「空き家をリノベーションし、学生と地域が交流できるカフェを作る」「大学祭を県内各地で開催する」など様々なアイデアが提案されました。学長からは「今あるアイデアのタネをさらに芽吹かせてほしい。大学としても、可能な限りサポートしていきたい」と取り組みへの期待と支援が述べられました。

TOPICS
3
生物資源科学部の江角智也准教授が共同研究
ソメイヨシノの開花予測技術を開発



生物資源科学部 江角智也准教授は、かずさDNA研究所、京都府立大学との共同研究で、遺伝子の発現をPCR法で解析することでソメイヨシノの開花時期を予測する新しい技術を開発しました。本研究成果により、ソメイヨシノの開花日の予測精度を向上させ、お花見の計画やイベント運営の最適化が行えるようになるほか、果樹の栽培管理を計画的に行うことが可能となり、安定して高品質な果実を得ることができるようになります。

WE LOVE SUN-IN!

楽しい街づくり
に貢献します

株式会社メリット TEL.0852-23-2230

地域創造企業 SHOWA

株式会社昭和測量設計事務所

TEL (0856) 23-6728 FAX 23-6573

島根大学 神在の里

島根大学生協同組合

TEL: 0852-32-6242

NSK 日本システム開発

先進のIT技術で未来を拓く。

日本システム開発株式会社

広告募集

島根大学企画広報課

TEL: 0852-32-6603

しろうさぎ

患者さん向けの「役に立つ」情報満載!

WEB上でも読めます。詳しくはこちら▶

読者の声 Voice

広報しまだいい vol.50に寄せられた声をお届けします。

学部学科の様子や卒業後の進路など、子の県内進学に参考となる情報も載せてほしいです。
(島根県浜田市・40代男性)

学長対談の中での「地方創生」という言葉に、大変惹かれるものを感じました。
(広島県福山市・50代男性)